



鶏足寺

❁ 災害を乗り越えて ❁

共和病院 看護部
次長 安藤 三津子

令和2年4月より看護次長に就任しました安藤三津子です。平素より看護提供にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。看護部の理念「優しさの提供」「楽しさの構築」「質の保証」を念頭に日々看護にあたらせていただいております。

9月1日は「防災の日」です。日本は外国に比べて台風、大雨、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火など自然災害が発生しやすい国土です。今年はコロナ禍で大規模な防災訓練が実施できない自治体は多いかと思いますが、ご家庭で災害の備えはできていますでしょうか？

阪神淡路大震災から25年、東日本大震災から9年を迎えました。そしてちょうど20年前の9月11日に発生した東海豪雨は大府市に甚大な被害をもたらしました。本州付近に停滞していた秋雨前線に台風14号の温かく湿った気流が流れ込んだため前線の活動が活発となり、愛知県を中心に記録的な豪雨となりました。河川の氾濫により市内各所で甚大な浸水被害に見舞われました。当院も浸水被害があったと伺っております。50年に1度といわれた豪雨被害でしたが、今や全国各地で大雨による浸水や土砂災害が起こっています。

私は東日本大震災時に愛知県看護協会災害支援ナースとして宮城県気仙沼の避難所に行きました。被災者の方々は昼間に自宅の片付けにいきます。夜間には避難所へ帰宅をされま

すが、粉じんによる咽頭痛や目の痛みを訴える方が大勢いました。また、自宅が流され、何もかもなくなってしまったと不安を訴える方もいました。だれもが先が見えず不安な日々を送っていました。その中でも印象的だったのは現地の保健師さんが夜間にご自身の友人とまだ連絡がとれないと関係者に打ち明けていたことです。私たちには保健師として毅然と振る舞っていましたが、実は大切な友人と未だに連絡が取れず、不安な日々を過ごされていたのです。医療従事者でありながら被災者でもあることを改めて感じる場面でした。私は災害支援ナースを経験したことで、医療従事者として自分が今、何をしなければならぬかを考えるきっかけとなりました。そして共和会は防火防災委員会を発足して5年目を迎え、春季及び秋季に防災訓練を実施しております。皆様が安全に療養生活を送っていただけるよう訓練を重ねております。また防災を一人でも多くの職員に知ってもらえるよう研修会を実施しております。

私は災害が起こるたびに、神様が「命の尊さ」を教えてくれているのではないかと思います。私たちは互いに手を取り合い繋がることで、何度も大きな災害を乗り越えてきました。お互いを思いやる心こそ災害を乗り越えられる力になります。日頃から「感謝」の気持ちで減災に繋がっていきましょう。



訪問看護ステーション アイリス半田

こんにちは、訪問看護ステーションアイリス半田です。8月1日に開設しました。

知多半島の中心部の半田市から以南と西三河の一部を訪問活動地域とし、季節の折々に変化を魅せる豊かな山や海を眺めながら毎日訪問しています。

アイリスのモットーは「自分の家で自分らしくを支える」です。

私たちは、精神の障がいを抱えながらもご家庭で生活されている方々が地域の中でどのように暮らしたいか、その思いに寄り添い、なりたい自分を後押しするお手伝いがしたいと考えています。

職員は看護師3名と事務員1名です。事業所内は和気藹々と楽しい雰囲気です。

利用者様のご自宅に訪問し、病状の観察や生活の様子、薬の管理方法についての相談や内服確認、家族にも相談しにくい話や一人で暮らす中で抱えている寂しさや不安に対する話し相手となり、安心

して地域生活が送れるようサポートさせていただきます。時には友人のように、時にはプロフェッショナルとして利用される方の生活に寄り添います。退院したいけれど入院が長期化して不安で一歩が踏み出せない、地域生活の中で相談相手がいて困っている方がいらっしやいましたら、是非アイリス半田へ気軽にお声掛けください。スタッフ一同、真心をこめて対応させていただきます。



管理者 小島 顕代

訪問看護ステーションアイリス半田

住 所 〒475-0925 半田市宮本町5丁目313番地7 メゾンシャトル101号室
担当エリア ・半田市・常滑市・高浜市・碧南市
・西尾市(離島を除き米津町、桜町、上町、下町、今川町に限る)
・阿久比町・東浦町・武豊町・美浜町

お問い合わせ TEL 0569-47-6980 FAX 0569-47-6981 E-mail h_iris@kyowa.or.jp



訪問看護ステーション アイリスみなと

みなさんこんにちは。訪問看護ステーションアイリスみなとです。9月1日に名古屋市港区に事業所の指定を受けました。名古屋市の港区を中心に名古屋の西側と海部郡の一部が訪問の対象地域になります。共和病院の理念のひとつ「優しい医療」を届けるべく、訪問看護を实践させて頂いております。

病院から訪問看護の現場に入ってみると、医療として入っておりますが、生活の支援の視点がとても大切だなと日々感じております。医療としての役割、お薬の確認や、睡眠の様子などをお伺いしつつ、「1人では散歩ができない。」「お部屋の掃除を手伝ってほしい。」など生活上の困りごとをお伺いする場面もとても多いです。

訪問看護の範囲内で直接お手伝いすることもあれば、訪問看護だけではできないことはしかるべき支援の方

に相談をしたり、または将来のことを考え、利用者さんと一緒に解決方法を考えることもあります。

また、訪問している中で、「アイリスさんに訪問に来てもらうことが楽しみなんだよ。」と言っていたことがあって、とても嬉しかったですし、訪問する上での励みになりました。

アイリスみなとは開設したばかりですが、今後地域での生活のお役に立てるように、根付いていければと、スタッフ一丸となって頑張っていきたいと思っております。

管理者 中嶋 弘志



訪問看護ステーションアイリスみなと

住 所 〒455-0832 名古屋市港区宝神3丁目305 ガーデンヒルズ宝神103号室
担当エリア ・名古屋市 千種区・東区・北区・西区・中村区・中区
昭和区・瑞穂区・熱田区・中川区・港区・南区
・清須市・津島市・弥富市・あま市・飛島村・大治町・蟹江町

お問い合わせ TEL 052-355-7198 FAX 052-355-7199 E-mail m_iris@kyowa.or.jp



第11回 共和会 研究発表会



今回の第11回研究発表会は、当初3月7日に外部の方をお招きし、例年通り開催する予定で準備を進めていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2月の時点で開催延期が決定しました。出席を予定されていた外部の方には大変申し訳ございませんでした。

どのような開催方法が望ましいのか模索しましたが、今回に限り、職員を対象とした『院内研究発表会』という形で開催することになりました。研究発表会を延期した半年間で、実行委員長の高川さんがアイリスへ異動となり、残りの実行委員で

手探りの準備を行いました。

当初は7題の発表を予定していましたが、3題を第12回に持ち越しとし、8月24日（第1部）に3題、8月31日（第2部）に1題の発表を行いました。

第1部では、OJT（職場内教育）のあり方、リハビリ志向の介入、条件反射制御法を治療補助者の立場から発表があり、第2部では、当院の精神鑑定について報告がありました。院内発表という形となり、今まで参加されたことがなかった方も、参加するきっかけとなりました。

アンケートの中で（今回の発表の

条件反射制御法の対象者が）『退院後2時間の通院時間を要しても、当院へ通院希望される意味とウエイトの重さを感じている』との感想がありました。

当院では、今後も様々な医療・介護等の提供、地域の関係機関の方々との連携に取り組んでまいります。そして、第12回以降も更に充実した内容を皆様に発表できるよう取り組んでまいります。

研究発表会 実行委員 近藤 礼子

研究発表プログラム

1. 病院介護職員のOJTのあり方

石川 雅也（介護福祉士）



2. 病棟看護師が行う リハビリ志向の介入 ～統合失調症患者への対話を通して～

日下 恵裕（看護師）



3. 万引きがやめられない患者に 条件反射制御法を実施して ～治療補助者の立場から～

石川 恵己（看護師）



4. 「精神鑑定」についての概略と、 当院での精神鑑定（鑑定留置）

村瀬 真治（精神科医師）



編集後記



新型コロナウイルス感染症の不安と予防、そして「新しい生活様式」が、日常の中になじみつつあります。オンラインの活用が進み、便利になっていく一方で、誰かと対面して関わりを紡ぐ機会が減っていくのは味気なく、寂しい気がします。皆さんはどのようにお感じでしょうか。

こうした今だからこそ、自分自身はどう感じどうしていきたいのか、自分には何ができるかを考えて行動していきたいと思います。

広報誌委員会 豊田 佳子

平日のみ 名鉄太田川駅までの送迎バスを始めました

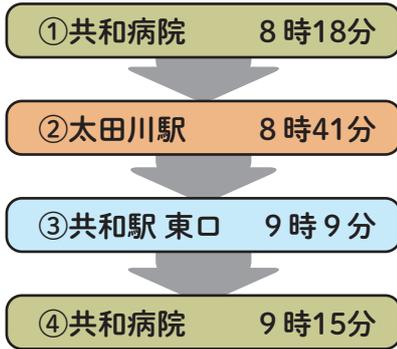
令和2年8月より、当院から名鉄太田川駅までの送迎バスを始めました。

知多地域にお住まいで名鉄沿線をご利用して通院・来院されている方々には是非活用していただけたらと思います！当院まで直通で運行していますので、乗り換え不要、運賃(乗車賃)も無料です！

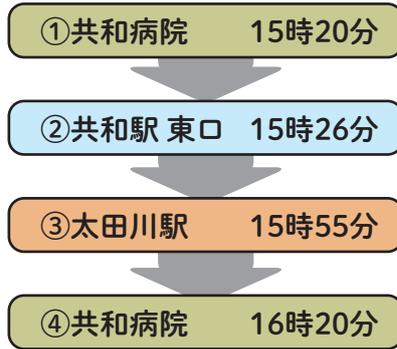
バスの運行時間帯が当院デイケアセンター“フリージア”の実施時間に合うようになっているため、受診とフリージアと一緒に利用してもらっても構いません。

どなたでもご利用いただけますので、どうぞご利用下さい。

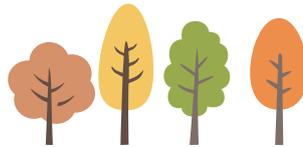
第1便



第2便



送迎バス



当院とJR共和駅を往来する無料送迎車は、右記の時刻で運行していますので、併せてご利用ください。

共和病院 (A館 玄関)

共和駅 (東口前ロータリー)

バス以外の時間帯は1BOXカーです

※ 15:20は、バス・1BOXカー 両方あります。
※ 時間になりましたら出発いたしますので、余裕をもってご利用ください。

病院 発	共和駅 東口 発
	8 : 39
	(バス) 9 : 09
9 : 15	9 : 30
9 : 45	10 : 00
10 : 15	10 : 30
10 : 45	11 : 00
11 : 15	11 : 30
11 : 45	12 : 00
12 : 15	12 : 30
12 : 45	
15 : 20	15 : 30
15 : 45	16 : 00
16 : 15	
16 : 35	

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日 19:00~19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに温かいメッセージをお送りします。是非お聞ください。

おもいやり共和のキラキラチアナイト

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

● 12月29日(火)~1月3日(日)は、年末年始につき外来診療を休診させていただきます。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

~当院をご利用の皆様へ~

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>